

【困難感】

あなたが、普段、終末期患者に対して行っているケアを振り返り、以下のようなことをどのくらいお感じになりますか。それぞれ最も近い番号ひとつに○をおつけください。

【症状緩和】

	思わない	たまに思う	時々思う	よく思う	非常によく思う
• がん性疼痛を緩和する方法の知識が不足している	1	2	3	4	5
• 呼吸困難や消化器症状を緩和する方法の知識が不足している	1	2	3	4	5
• 症状緩和について、必要なトレーニングを受けていない	1	2	3	4	5

【医療者間のコミュニケーション】

• 医師・看護師間で、症状に対する評価方法が一致していない	1	2	3	4	5
• 医師・看護師間で、症状緩和のための一貫した目標を設定することが難しい	1	2	3	4	5
• 医師・看護師間で、症状緩和に関するコミュニケーションをとることが難しい	1	2	3	4	5

【患者・家族とのコミュニケーション】

• 患者から不安を表出されたとき対応が難しい	1	2	3	4	5
• 家族から不安を表出されたとき対応が難しい	1	2	3	4	5
• 患者が悪い知らせ（告知など）を受けた後、声のかけ方が難しい	1	2	3	4	5

【地域連携】

• 患者が、在宅療養に移行するための、病院、診療所、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等との間でのカンファレスがない	1	2	3	4	5
• 患者の在宅療養に関する情報を得ることが難しい	1	2	3	4	5
• 病院、診療所、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等との間で、情報共有が難しい	1	2	3	4	5

【看取りと家族ケア】

• 終末期ケアに関する家族ケアに困難を感じる	1	2	3	4	5
• 終末期ケアに関して、家族の負担を軽減することは困難である	1	2	3	4	5
• 家族に患者が死にゆく過程を教えるのは困難である	1	2	3	4	5
• 在宅で患者の看取りを援助する困難を感じる	1	2	3	4	5
• 死にゆく患者を介護する家族を支えることが困難と感じる	1	2	3	4	5
• 家族が在宅での看取りに対して不安を表出したとき、適切に対応することが難しい	1	2	3	4	5